

ビキニ水爆被災事件直後の1954年5月、日本気象学会は他学会に先がけて「水爆実験禁止に関する声明書」を採択した。これは(1)水爆実験によって成層圏に打上げられた放射能を持つ多量の灰は、地球をかこむ大気の大循環のために世界中にはこぼれること。(2)このような大規模な大気汚染は長い間つづくので、日射その他の気象現象に異常をきたし、今後の凶冷その他の気象災害との関係については全く予想をゆるさないこと。を指摘した上で、「気象学的立場からみても」危険性のある水爆

実験の禁止を訴えたもので、まさに先見的なものであった。

現在“核の冬”をはじめとして大規模核戦争の気象学的影響が問題にされている。もちろん、まだ研究すべき問題点が多々あり、早急な結論を下すべきではないことは明らかである。しかし、最近の日本の気象界はこの種の問題を議論することさえ“政治的”として回避するような空気がないであろうか。スウェーデンの“反核気象人の会”を見習いたいものである。

1987年地球化学研究協会学術賞「三宅賞」の受賞候補者および 研究助成受領候補者推薦のお知らせ

三宅泰雄教授退官記念事業として、創立された(1972)地球化学研究協会は、その翌年から地球化学に顕著な業績をおさめた科学者に、毎年地球化学研究協会学術賞「三宅賞」を贈呈しています。

さらに1983年からは、あらたに、地球化学の若手研究者で海外シンポジウム等に出席し、論文を発表する者に対し、助成を行っています。

なお、三宅賞の賞金および研究助成金は本協会を母体として、1983年に新設された公益信託「地球化学研究基金」(受託者東洋信託銀行株式会社)から贈られます。

つきましては、下記の要領により、受賞候補者および研究助成受領候補者のご推薦をお願いします。

記

三宅賞

1. 本賞は地球化学に顕著な研究業績をおさめた科学者に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞牌および賞金(30万円)をそえます。
3. 本賞の贈呈は、1年1件(1名)とします。
4. 所定の用紙(学会にあります)に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由(400字程度)、主な論文10編程度に略歴をそえて、協会事務所までお送

り下さい。

研究助成

1. 研究助成は地球化学の若手研究者で、海外のシンポジウム等に出席し、論文を発表する者に対して、行われます。
2. 助成金は1件10万円とし、年に3件とします。
3. 所定の用紙に研究助成受領の推薦対象者となる若手研究者(各締切日において満40歳までとする)の略歴、研究業績、助成金使用の目的、出席予定の国際会議名(開催年月日、開催場所)、発表予定論文題目、推薦理由等を記入して、協会事務所までお送り下さい。

三宅賞の贈呈および研究助成受領者発表は、1987年12月5日東京でおこないます。

申込締切日は、三宅賞は、1987年9月5日(土)・研究助成は、第1回締切1987年9月5日(土)、第2回締切1988年1月末日。

地球化学研究協会

〒166 東京都杉並区高円寺北 4-29-2-217

TEL. (03) 330-2455